イベント告知やサークル仲間募集など、いろんな情報が盛りだくさん！

タウンニュース

2月16日(金)　発行のタウンニュース原稿の締め切りは2月7日(水)　16時までとなります。

掲載のご依頼はこちらから
【FAX】0123-27-4911
【Eメール】chat@chanto.biz
【掲載依頼書がダウンロードできます】
https://chanto.biz/henshu/
こちらの二次元コードからもアクセスできます

※情報掲載には審査、抽選がございます。掲載の可否についてのお問合せはお受けしておりません。
※情報の詳細を、編集・短縮することがございます。　※お電話での受付はしておりません。
※営利目的情報、高額な参加費のイベントなどは、掲載できません。ご了承ください。

千歳市

第4回市民教養セミナー「主体的な活動を生むためのチームづくり」

講演のほか、木製知育玩具「森のピタゴラス」を使用した体験プログラムを通してチームづくりの実践的な手法について学びます。参加費無料、要事前申込。
とき／2月20日(火)18時30分～20時
ところ／北ガス文化ホール 4階大会議室（千歳市北栄2-2-11）
定員／100人（先着順）
講師／NPO法人ezorock代表理事 草野竹史 氏、コーディネーター 水谷あゆみ 氏
その他／共催「千歳市教育委員会」「みんなで、ひと・まちづくり委員会」
申込方法／電話・FAX・WEBでお申し込みください。
申込／千歳市教育委員会生涯学習課社会教育係
電話／24-0848（直通）
FAX／27-3743

ライフプランセミナー

①第一部：社会保険と年金～自分の貰える年金額について考えよう～
講師／社会保険労務士・キャリアコンサルタント 望月英詞 氏
②第二部：泳縁（えいえん）～金メダル獲得後の挫折と学び～
講師／元競泳日本代表・スイミングアドバイザー 岩崎恭子 氏
①②共通
とき／2月21日(水)13時～15時
ところ／千歳市総合福祉センター402号室（千歳市東雲2-34）
その他／参加費無料、要事前申込
申込期間／2月16日（金）まで
問合せ・申込／千歳市季節労働者通年雇用促進協議会
電話／24-0602

令和6年度「千歳市内少年団体等の新規登録募集」について

年に1回、4月に「少年団体等一覧表」を発行。市内の小中学校や公共施設等に配布しています。新規に登録を希望される少年団体はご連絡ください。
対象／・主に市内で活動していること・概ね小学生から高校生までの活動に特化していること
提出方法／千歳市内少年団体等調査票を持参するか、郵送またはEメールで提出してください。・調査票様式は、市HPからダウンロードできます（市HPで「少年団体」と入力して、検索してください）
申込期間／2月22日（木）必着
問合せ・申込／千歳市教育委員会生涯学習課 生涯学習推進係（〒066-8686 千歳市東雲町2-34）
電話／24-3153
FAX／27-3743
Eメール／shogaigakushu@city.chitose.lg.jp

スポーツ＆カルチャー

営利目的の教室・体験イベント情報は原則掲載できません。
同じ方からのお申込みは、続けて掲載できません。

カイロプラティックで骨盤調整の体験をしてみませんか？

繰り返す痛みや不調には原因があります。姿勢のプロにおまかせください。要事前申込。
とき／2月1日（木）～29日（木）平日18時30分～、土日祝日10時～18時まで
ところ／千歳市真々地1丁目
参加費／500円
持ち物／フェイスタオル、動きやすい服装
問合せ・申込／しろくま
電話／090-6699-4392（ショートメール可）

コンビニフィットネス 体脂肪測定会

参加無料、事前申込不要。
とき／2月2日（金）10時～14時30分
ところ／ちとせモール1階センター広場（千歳市勇舞8-1-1）
問合せ・電話／21-8070（コンビニフィットネス）

Chitose Maibun Center 通信

No.33 今年の企画展も盛りだくさん　調査係　和田　由希絵

皆様、2024年が始まり早1か月が経ちますが、今年の目標は決まりましたか。私の今年の目標は「新しいパソコンを買うこと」だったのですが、年始に勢いで買ってしまいました。新しいパソコンと一緒に、今年も楽しく過ごしたいなと思っています。今年一発目の楽しいイベントといえば「企画展」です。年に一度開催しているシリーズ企画展「あなたのそばの遺跡たち」が今年も絶賛開催中です。第3弾の今回は、「祝梅・根志越・中央地区」の中の8遺跡を特集しています。前回の企画展は主に古砂丘の遺跡を特集したので、旧石器祭り！の展示でしたが、今年は主に擦文・アイヌ文化期の遺物が展示されており、全く違った仕上がりになっています。

そのなかでもぜひ注目してもらいたいのは、青磁です。今回は2点展示しています。青磁とは、磁器（ガラスっぽい器のこと、よく「陶磁器」とまとめて呼びますが実は「陶器」と「磁器」は別物です）の一つで、青緑がかった色をしています。中国が起源の磁器で、今回展示している2点も、どちらも中国から輸入されたものです。そのうちの一つはなんと12世紀後半の完形品！南宋時代の中国 福建省でつくられた同安窯系のものとみられます。この時期の青磁は道内でもほとんど見つかっていません。擦文時代末～アイヌ文化期のお墓の副葬品として見つかりました。一般的にアイヌ文化期の人々は、陶磁器よりも漆器をよく使っており、今回の古い時期にあたる青磁ももちろん日常使いのものではなく、宝物のような扱いであったと考えられます。このような珍しいものが見つかることからも、昔から千歳が交通の要衝で、色々なヒト・モノが集まっていたことがうかがえますね。

企画展ではほかにも珍しい遺物を展示しています！3月27日(水)までです！ぜひお気に入りの遺物を見つけてください！お待ちしています！

▲今回も遺物・写真盛りだくさんの展示になりました

▲12世紀後半の中国の青磁！とてもきれいで見ごたえ抜群です！

千歳市埋蔵文化財センター
千歳市長都42-1 Tel.24-4210
〈開館時間〉9時～17時
〈開館日〉月曜～金曜・毎月第2日曜
※祝日は休み

千歳市文化財キャラクター「ママチくん」
千歳　埋蔵文化財
【Twitterやってます！ @kiusu_4210】

支笏湖だより

ヤドリギ～進化のふしぎ～

支笏湖ビジターセンター　榊原 茂樹

冬の森を歩くと、落葉した広葉樹の高い枝先に丸い鳥の巣のようなものを見かけます。「鳥の巣ですか？」とビジターセンターを訪れるお客様に質問されることがありますが、その多くは実は「ヤドリギ（宿り木）」という植物です。

ヤドリギは樹木に生える樹木、つまり他の木に寄生する（栄養や水をもらって生きる）寄生植物なのです。

高い所に生えている場合が多くて見にくいのですが、双眼鏡などで拡大してみると、冬でも緑色の常緑植物だとわかります。つまり、自ら光合成で栄養を作り出すこともできる植物でもあるのです。

という訳で、ヤドリギは木に生える木です。違う言い方をすると、土に根を下ろして成長することはできません。だから、他の木に種（たね）を植えて根を張るしかないのです。では、写真に写っているような実の中の種は、どのようにして他の樹木に根付くのでしょうか？

実は、ヤドリギの実の中の果肉はヌルヌルベトベトしています。その実を飲み込んで食べた鳥たち（例えば、ヒヨドリやレンジャクなど）は栄養として利用しますが、やがて種だけは糞（ふん）として排泄します。ところが、その糞はポトンと落ちることなくお尻からビローンと糸を引いてぶら下がります。それが木の枝などの樹皮にペタッとくっつくのです。樹皮に付着した種は、春になると根を出してその樹木に根付くわけです。

それにしてもこの仕組み、長い長い時間をかけた進化の賜（たまもの）といえますが、どんな過程を経てここに至ったのでしょうか。本当に不思議でなりません。

ビジターセンター前の広葉樹に寄生したヤドリギ（黄色い実を付けています）